

JAきたみらい

おひさま サタダ

2016



vol.164

9



はいっ ポーズ!

《訓子府地区・大谷》

伊藤聖子さんと蒼馬くん・由芽ちゃん・帆乃花ちゃん
(紹介は2ページです)

特集

高知県高校生来訪
きたみらい農業を体験!

特集 高知県高校生来訪 きたみらい農業を体験!



◀玉葱の選別を行う津野さん

▶津野さんと笠野さんご家族



幡多農業高校 2年 津野 睦実さん

北海道の大規模な農業を見てみたい、体験してみたいと思い、今回の研修に参加しました。実習では玉葱の選別を行いました。たくさんの玉葱が次から次へと流れてきて、葉が切れていないものを見落としてしまう程で、大変でした。

実習期間だけでも大変だと感じたのに、農家のみなさんは毎日このような作業をされていてすごいと思いました。

今後は私たちが食べている野菜は、農家のみなさんが大変な思いをして育ててくれていることが改めて分かったので、この気持ちを忘れずに作物を大切に扱っていきたいと思います。

津野さんの受入農家は訓子府地区・西富の笠野敏明さんです。

8月19日から23日までの5日間、JAきたみらい管内の農家のもとで高知県内3校の高校生13人が実習を行いました。

この取り組みは、平成10年から始まりました。明治時代、高知県から北見周辺に入植したことがきっかけです。本年は6戸の畑作農家と3戸の酪農家にホームステイし、きたみらい農業を体験しました。



農業体験学習の実施にあたって 高知県立高知農業高等学校 校長 田中 彰治

いつもお世話になっております。本年もお世話になります。本農業体験では大規模農業体験を通して、働くことの意義を学ぶことを目的としています。生徒たちには高知県では体験できない大規模農業や、最新の農業機械を間近に見て、全く違う体験をすることで将来に活かしてもらいたいと思います。受け入れして頂ける農家の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。重ねてお申し上げます。本農業体験は平成10年から始まり、(平成22年は中止の為)本年で18回目となります。今後も生徒たちにご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

幡多農業高校 2年 西内 優葵さん

高知と北海道の栽培方法の違いなどを知りたい、北海道での研修はなかなかできないことなので参加したいと思い、応募しました。実習では玉葱の選別を行いました。ピッカーの荷台に乗り、収穫された玉葱がすごい速さで回ってくるなかから悪いものを見つけて分ける作業が大変でした。

実習を通して、やっぱり高知の農業と畑の広さや機械の大きさなど全てが違うこと、ピッカーなどの機械に乗って玉葱を収穫したことが印象的でした。

受け入れ先の清井さんのお家では農業ももちろんですが育児も勉強になりました。将来、何になりたいかはまだ決まっていますが今回の研修で学んだことをしっかりと活かしていける仕事に就きたいです。

西内さんの受入農家は訓子府地区・西富の清井裕貴さんです。

玉葱の葉分けを▶
行う西内さん



▲西内さんと清井さんご家族



▼川添さんと
宮下さん夫妻



▲玉葱の選別を行う川添さん

幡多農業高校 2年 川添 真琳さん

北海道の大規模農業の様子をこの目で見てみたいと思い、参加しました。実習では玉葱の葉切りを行いました。一日中立ちっぱなしの作業は初めてで、すごく大変でした。機械を使うけど最後は人の目で確認していて、手間暇かけて作られているんだと感じました。

学校に戻ってからも、これからの実習において今回の研修のことが活かせるように頑張っていきたいです。

川添さんの受入農家は北見地区・三輪の宮下尚樹さんです。



◀除糞作業を行う
橋田さん



▲橋田さんと受入農家の佐藤さんご家族

高知農業高校 2年 橋田 夢歩さん

北海道の農業をもっと知りたいと思い、参加しました。実習では朝と夕方に搾乳をしたほか、敷藁の入れ替え、子牛にミルクをあげたりしました。サイレージを三輪車に入れて運ぶとき板からタイヤが外れたりすると押しても引いても動かなかったのが苦労しました。

牛が生まれるところを初めて見たので、感動しました。ミルクをあげるときは、吸う力が強くて押さえるのが大変でした。今回の研修で学んだことをこれから活かしていけたらいいなと思いました。

橋田さんの受入農家は端野地区・協和の佐藤寿彦さんです。

幡多農業高校 2年 筒井 咲良さん

北海道の広大な土地を使った大規模な農地を見たかったこと、高知の農業と違う部分を学びたいと思い、参加しました。実習では玉葱の収穫や葉っぱ切りを行いました。実習ではずっと立ちっぱなしや腰を屈めた体勢での作業はとても大変でした。

学校での実習と違い1日の実習時間も長く、気が遠くなる程広い農地での手作業は農業の大変さ、難しさを肌で感じました。大変ではあったけど目標を達成したときの満足感も味わえて良かったです。

今後は野菜を作る大変さ、難しさを身を持って体験したので作物やそれを作ってくれた人への感謝の気持ちを大切にしたいです。

筒井さんの受入農家は訓子府地区・福野の武藤一仁さんです。



▲筒井さんと武藤さんご家族



玉葱の選別を▶
行う筒井さん



▲餌寄せを行う曾我さん(右)、田代さん(左)

高知農業高校 3年 曾我 海咲さん

去年も参加しており美幌で実習をしました。とても楽しく沢山のことが学べ、良い経験ができたので、もう一度行ってみたいと思い、参加しました。実習では搾乳などを行いました。実習を通してロボット搾乳の利点や、北海道のみなさんの優しさ、冷涼な気候が印象に残りました。

今後に向けて、農業実習で得た経験を自分の将来に役立てたいです。



▲曾我さん、田代さんと石井さんご家族

3年 田代 里奈さん

北海道の酪農というものを体験してみたい、高知では体験できないことを学べると思い、参加しました。実習では子牛の水やり、哺乳、床替えや、ロボット搾乳や除糞をしました。仕事は徐々に慣れてはいきましたが、いつまでたってもフォークの使い方が下手で、寝糞を運ぶのも飼料を運ぶのも何往復もしなくてはならなくて大変でした。

実習を通して1番感じたことは、畑や牛舎などが高知とは比べものにならないくらい大きかったということです。除糞も機械を使ってとても驚きました。

今後は、学校での実習等で農家さんが教えてくれた搾乳時のコツなどを活かしたいです。ロボット搾乳という貴重な体験ができて大変嬉しく思っています。

曾我さん、田代さんの受入農家は温根湯地区・大和の石井一男さんです。



▲じゃがいもの収穫を行う森島くん(左)、奥田くん(右)

幡多農業高校 2年 奥田 伊武希くん

高知県とは違う広い面積を活かした大規模な農業を知りたいと思い、参加しました。実習では玉葱の葉切りとじゃがいもの収穫、とう立ちした玉葱を取り除く作業をしました。中でも広大な畑のなか、とう立ちした玉葱を手作業で取り除いていくのは規模の違いを目の当たりにしました。改めて農業の大変さを感じることができ、全体的に機械による作業が主体であっても、人間による作業もたくさんあることに驚きました。

今回の実習で体験した農業の大変さを、将来にどのようなことがあっても乗り越えられる力になるよう、活かしていきたいです。



▲森島くん、奥田くんと福井さんご家族

2年 森島 辰也さん

北海道の畑の広さや、従業員数などの規模の違いを知りたいと思い、参加しました。実習では玉葱の葉切りやとう立ちの抜き取り、じゃがいもの収穫を行いました。実習期間に台風がきたことが大変でした。

実習を通して広大な畑を家族だけで経営していて、すごく大変だということが分かりました。学校に戻ってから実習には人一倍取り組み、今回の経験を将来のために役立てたいと思います。

奥田くん、森島くんの受入農家は北見地区・豊地の福井慎一さんです。

幡多農業高校 2年 川崎 舞さん

学校で実習を重ねていくうちに、実習をすることがいつの間にか好きになっていたのも、大規模な農業を体験したいと思い、参加しました。実習では牛や羊に餌をあげたり、糞掃除、子牛に哺乳したり、また搾乳の手伝いをしました。早起きが苦手でしたが、毎日起きることができて達成感を感じました。掃除する時間もかなりあり、重労働でしたが、ここでしかできない良い体験になりました。

羊を屠殺場に連れて行ったときは命がどれだけ大切か学びました。「いただきます」の本当の意味を知ったと思います。学校では習っていないこともたくさん知ることができたので、習ったことを理解した上で無駄にならないように頑張っていきたいです。



▲給餌作業を行う川崎さん(右)、今井さん(左)

2年 今井 優有さん

学校での実習で、牛・豚・鶏の飼育がとても好きになって酪農の仕事に興味を持ったので本場の北海道で体験したいと思い、参加しました。実習では乳牛、子牛、羊に餌やりや哺乳をしたり、屠殺所に羊を連れて行きました。餌の配布や長時間の作業、早起きは大変でした。

実習を通して農家さんには休日がないということをもっと感じました。一見「楽しそう」「自分にも出来るかも」と思っていたらかなりハードで、一つひとつの作業が牛乳の品質に影響することを知りました。

農業関連の仕事に就きたいということに変わりはないので、将来につなげるよう北海道で学んだことを活かして座学や実習に励んでいこうと思いました。

川崎さん、今井さんの受入農家は置戸地区・常盤の田中真さんです。



▲今井さん、川崎さんと田中真さん

幡多農業高校 2年 高岡 真由さん

高知とは違う気候や敷地面積でどのような農業が行われているのか、また、その特色を活かしてどのような工夫がされているのか興味があったので参加しました。実習では花の収穫、加工作業をしました。加工作業では立ち作業が多かったので最初は慣れなくてすぐに足が痛くなったしまったり、収穫のときに畑がぬかるんでいたのになかなか思うように作業ができなくて大変でした。

加工する花の量が多いため、1つ1つ丁寧に速く作業することが重要だと知りました。丁寧にしていくことで手間をかける大変さを実感し、少しずつやりがいを感じました。

今後はこの研修が為になるように、ここで学んだ知識を今後の実習で実践していきたいです。



▲花の加工作業を行う高岡さん(右)、吉本さん(左)

2年 吉本 萌恵さん

先輩の話を聞いて自分も行ってみたいと思い、また、高知とは広さも違い、どんな作業をしているのか知りたくて参加しました。実習では花の加工作業や収穫を行いました。たくさん花があり、素早く丁寧に作業を行うのがとても大変でした。

1つのものを作るのにたくさんの人が関わってできているということを実感しました。受入農家のご家族のみなさんや従業員の方にも優しく接してもらいとても良い5日間になりました。

北海道実習での経験を高校での実習や自分の将来に役立てていきたいです。

高岡さん、吉本さんの受入農家は端野地区・川向の水口靖一さんです。



▲高岡さん、吉本さんと水口さん夫妻

温根湯地区の東海林晃さんの畑では白菜の収穫作業が順調に進んでいます。白菜はきたみらい管内では北見地区と温根湯地区の丘陵地を中心に栽培されており温根湯地区では7月上旬より収穫作業を開始し、10月頃まで長期出荷されます。

東海林さんは白菜5畝を作付。白菜の他にレタスやキャベツなどを作付しており、早朝より順次収穫作業が行われています。また、東海林さんの白菜は畑に堆肥を入れることにより、甘みが強いのが特徴で、東海林さんは「近年白菜の需要は低下しているが、甘くておいしいので若い人などもっと多くの人に食べてもらいたい」と話してくれました。

収穫された白菜は主に道内市場に出荷される予定です。

(丸山 恵理)



▲手際よく収穫作業が進む東海林さんの圃場

西地域
温根湯

**長期出荷に向け
収穫順調**

～甘みの強さが特徴～



▲馬鈴薯の選別を行う佐野教諭(右)

東地域
北見

**教員が
農業を体験**

～農村ホームステイ実施～

J Aきたみらい青年部(引地隆之部長)は8月8日、9日の2日間、教員を対象に農村ホームステイを実施しました。この事業は北海道農協青年部協議会(J A道青協)で平成25年度より、教育現場と農業現場との連携強化と地域活性化の推進を目指して取り組んでいます。

同事業は1泊2日で実施し、1日目は引地部長の圃場で馬鈴薯の収穫を体験しました。2日目は当J Aの小麦乾燥調製貯蔵施設と馬鈴しょ選果施設の稼働状況を見学しました。

今回、農作業体験を実習した網走市立西が丘小学校の佐野正樹教諭は「生産者から消費者という作物の流れを実感できた。生産過程で様々な方々が関わっていることを、学校に戻って授業で子供たちにしっかりと伝えていきたい」と話しました。

(神田 貴章)



地

域

だ

よ

り



女性部留辺蘂支部(茂住真澄支部長)は8月12日、エコープるベレ店入口前にて、野菜市を開催し、支部役員8人が参加しました。

この野菜市は女性部主催で年1回行われており、今年で23回目になります。ナス、キュウリ、トマトなど部員が自家で育てた旬の夏野菜を中心に、白菜や玉ねぎ、馬鈴薯など10種類以上の採れたて新鮮野菜を大特価で販売。例年より30分以上早く完売し、大盛況でした。購入された方の中には「新鮮な野菜が買えて良かった。家族みんなで食べます」と喜ぶ声も聞かれました。

また同時に行われたフリーマーケットでは、日用品や衣類を格安で販売。商品を購入しに来た方で賑わい、好評のうちに終了しました。

茂住支部長は「開始時間前から並んで待ってくれる人もいるほど好評で嬉しい。当日は雨に当たることもなかったのが良かった」と話してくれました。

(菊池 光祐)

西地域
留辺蘂

**新鮮野菜を
大特価で販売**

～女性部野菜市開催～



▲野菜を購入する地元のみなさん

南地域
置戸

**市場での有利販売
を目指して**

～初任牛毛刈り講習会開催～



▲毛刈りの方法について説明を受ける参加者のみなさん

8月31日、置戸地区野里牧場で初任牛の毛刈り講習会が行われ、地域の酪農家など9人が参加しました。

近年、乳牛の個体販売価格が高値で推移しており、市場での取引成立率が上がれば酪農家の確実な収入源として期待することができます。

講師を務めた、ふれあい畜産G職員は「毛刈りをして市場に出荷することで、府県購買者の意欲を高め高値取引につながる」と毛刈りの重要性を話し、乳牛市場販売予定牛で実演を行いました。

その後、酪農家が実際に毛刈りを体験。初めて毛刈りに挑戦したという置戸地区北光の野里智也さんは「今までクシでとかすだけだったが、毛を刈ると確かに見た目が良くなると感じた。積極的に取り入れ、販売価格向上につなげたい」と話していました。

この講習会は酪農振興会の分科会活動の一環として行われ、今後北見地区・訓子府地区でも実施される予定です。

(石井 睦美)

ほのぼの 広場

きたみらいの ホープさん



新しい技術を 取り入れたい

相内地区・相内
渡辺 貴哉さん(22歳)

- 趣味は？
ゲーム、読書
- 好きな食べ物は？
焼肉です。肉料理が大好きです。
- 理想の女性像は？
料理が得意な人が好きです。
- 農業で学び実感したことは？
頭では理解しているものの、いざ実行するのが難しいです。一つひとつの経験を自分の力にしていきます。
- 今後の抱負は？
収量の向上を目指し新しい技術を取り入れていきたいです。また青年部活動も積極的にがんばります。

貴哉さんは稲野複合経営の幸夫さん、香理さん夫妻の長男で就農して1年目になります。
(菊池 光祐)

◆出身、前職とご自身の性格は？

紋別市出身で、結婚前は北見市内で歯科助手として働いていました。性格は人見知りで、仲良くなるまでに時間がかかりますが、大人数で集まるのは好きです。

◆ご主人との出会い、家族構成は？

主人とは専門学校が一緒でお付き合いするようになり、22歳で結婚しました。現在は主人と息子と娘と4人暮らしで、毎日にぎやかです。

◆マイブームは？

ここ最近家族でBIGBANGなどK-POPにハマっています。暇があればDVDを観ているので子ども達も歌を覚えるほどです(笑)

◆フレミズ活動で楽しいこと、今後の抱負は？

フレミズ活動では年1回の視察研修と運動会などみんなで集まってワイワイできて楽しいです(^ ^)

今後の抱負は、フレミズ未加入の方にも気軽に参加してもらえるよう、今年の本部役員みんなと協力していきたいです！

プリティ ウーマン



気軽に参加して
もらえるように
留辺蘂地区・旭
坂下 晴香さん(29歳)

今回は平成28年度フレッシュミズ西支部の支部長坂下さんに登場いただきました。(丸山 恵理)

わが家のアイドル

思いやりのある優しい子に

台風一過の青空のもと、沼崎家を訪ねるとお父さんと一緒に出迎えてくれた優羽くん。家のなかを飛びまわるほど元気一杯なお父さんっ子で、最近良く話す言葉は「パパ」です。

二人兄弟の優羽くんはお兄ちゃんの大雅(たいが)くんのマネをよくします。大雅くんがベッドからジャンプしたら、一緒になってジャンプ！ミニカーや機関車トーマスのおもちゃで仲良く遊ぶときも、同じものが欲しくて、取り合いのケンカになっちゃうこともあります。

好きなテレビはアンパンマンで、二人並んで見ています。お兄ちゃんがソファに座っていたら、隣についていくほど仲良しさんです。

好き嫌いが無い優羽くんは初めて見るものでもへっちゃらです。野菜が好きで、生野菜も食べられます。

そんな優羽くんにお父さんとお母さんは「思いやりのある優しい子になってほしい」と話してくれました。

沼崎雅年さん・亜美さん夫妻のお子さんです。

(高田 陽介)



端野地区・三区

沼崎 優羽くん
(1歳10ヵ月)

Qお付き合いのきっかけは？

訓子府青年団体連絡協議会(訓青協)で知り合いました。2年ぐらい一緒にバンドを行いその後付き合い始めて、4か月で結婚しました。

Q趣味は？

スキーと音楽が共通の趣味です。子どもたちが小さい頃は家族でミニバレーもやっていました。

Qこれからしたいことは？

子どもたちからの還暦記念のプレゼントとして今年の秋に北海道新幹線を利用して東北に旅行へ行ってきます。

Qお互いの好きなところは？

智俊さん：どんな料理をお願いしてもおいしく作ってくれるところが好きです。

浩美さん：優しいところが大好きです。

Qお互いの感謝の言葉

智俊さん：長年、酪農業と一緒にやってくれてありがとう。家にいない時でも酪農業を安心して任せられます。

浩美さん：毎日おとうさんと楽しく会話ができて幸せです。おかげで毎日酪農業と一緒にやるのが楽しいです。本当にありがとうございます。

(神田 貴章)



なかよし夫婦

毎日一緒に酪農業を
楽しんでいます！

訓子府地区・大谷

今 野 智 俊さん(59歳)
ひろ 浩 美さん(54歳)

ホクレン冬期子牛飼養環境向上支援事業 (平成28年度ホクレン酪農生産基盤強化対策の一環として)

北海道では特に冬期間における分娩時および分娩直後の子牛事故率が高い傾向にあります。
冬期間の子牛の寒冷対策は北海道の酪農家に共通する課題ですが、分娩時のケアに加えて、出生後すぐに子牛の体を乾かし、暖め、保温を行うことが子牛の死亡事故や疾病の防止につながります。
酪農家の皆様には、今年の冬、子牛の寒冷ストレス対策の強化に向けて本事業をご活用いただき、将来の経営基盤の基礎となる優良後継牛の生産にお役立てください。
申請手続き等については、ふれあい相談畜産グループ地区担当者までお問い合わせください。

～事業概要～

■事業の期間

平成28～29年度の2か年間実施します。
※平成28年度対象：
H28/4/1～H29/1/31納品分
※平成29年度対象：
H29/2/1～H30/1/31納品分

■助成対象者

JAを通じて北海道指定生乳生産者団体に生乳を出荷している者であって、その受託販売契約を当事業実施期間中において締結している者。

■助成割合・助成額

事業費(実質生産者負担額)の50%を助成します。
但し、事業期間中(2か年合計)で30万円/戸(税抜)を上限とします。

■助成対象費用

生乳生産者段階における分娩時および分娩直後の子牛の飼養環境向上に資する下記3カテゴリの物品の導入費用の一部を助成します。

カテゴリ	対象物品
①子牛を暖める、乾かす	ヒーター付子牛加温装置、赤外線ヒーター
	電熱マット、カーフジャケット
	哺育牛用電熱水槽など
②子牛を隔離する	カーフハッチ、カーフペン、など
③分娩を監視する	分娩監視システム、分娩監視カメラ、など

※国の補助事業との重複助成を可とします。
※事業費2千円未満は対象外とします。
※敷料等の消耗資材は対象外とします。

■参加申込期日(平成28年度事業)

平成28年10月を参加申込期日としています。

～取組事例～

分娩を監視する

分娩監視装置などを利用して分娩に立ち会うとともに、分娩直後の子牛のケアを行う。



乾かす・暖める

ヒーター付子牛加温装置などで子牛を乾かし暖めることで、低体温による死亡や虚弱牛を減らす。



保温する

カーフジャケットなどで低温によるストレスを低減し、疾病感染リスクを減らす。



隔離する

カーフハッチなどで子牛を隔離し、下痢や肺炎に感染するリスクを減らす。



JA北海道中央会



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々のおトピックなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



JA北海道大会決議事項である「サポーター550万人づくり」に向けて、道民の皆さんに食と農・JAの魅力伝えるスマートフォンアプリ「JA2MP(ジエイエイジャンプ)」のダウンロードを開始しました。
農業イベントや関連施設のチェックインスポットラリー、直売所から発信するオスメ農畜産物情報など、皆さん一人一人が北海道の魅力を再確認していただけるよう地域の魅力発信に努めて参ります。



ホクレン



酪農生産基盤強化対策の一環として、北海道特有の冬場の子牛事故率の低減に向けた「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施します。
具体的には、出生直後の子牛を暖める機械装置や分娩監視モニター等の導入助成を行います。今年の冬、子牛の寒冷ストレス対策の強化に向けて本事業をご活用いただき、将来の経営基盤の基礎となる優良後継牛の生産にお役立てください。日程・事業内容の詳細は、JA担当課へお問い合わせください。(左ページに事業説明を掲載しています)

JA北海道信連



北海道若手女性農業者集団「Links」のメンバーを講師に、小学生とその親を対象とした「学び・作る・食べる旬食力レッジン札幌親子料理教室」を開催しました。
「料理教室」と「食の講演」を通じて、地域の皆さんに地元食材のファンになってもらう、さらにJAバンクの商品・利便性を紹介し、サポーターにつなげることを目的としています。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。
ホームページにバックナンバーを掲載しております。ぜひご覧ください。



JA共済連北海道

共済ホールで、「全道LA・スマサポ大会」を開催し、前年度の普及活動で優秀な成績を収めたLA62名と、スマサポ29名を表彰しました。
JA共済では、これからもLA・スマサポによる「3Q訪問活動」と「あんしんチェック」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めて参ります。





▲広域推進の部で表彰を受ける菅原職員

きたみらいから1名が表彰

J A 共済連北海道は8月5日、平成28年度全道 L A ・スマサポ大会を札幌市の共済ビルで開催しました。平成27年度に優秀な実績を挙げたライフアドバイザーとスマイルサポーターを表彰し、当 J A からは1名が表彰を受けました。

◆顕彰者職員

顕彰部門	職員氏名	所属部門
広域推進の部	菅原 人志	金融共済部 本店総合渉外課



▲審査員を務めた稲山智明氏

ホクレン北見支所は8月27日、訓子府の北見管内畜産総合施設で、第66回北見管内総合家畜共進会を開催し、管内各地から98頭が出品され、体型や資質の優劣を競い合いました。J A きたみらいからは47頭が出品。審査員は北海道ホルスタイン農業協同組合の稲山智明審査部企画課長を務めました。同共進会の上位牛は「2016北海道ホルスタインナショナルシヨウ」の出場権を得ることになります。出品者は、出品牛が美しく見えるように入念に手入れを行い挑みました。

審査の結果、当 J A 出品牛からは23頭が1等に入賞しました。

第66回 北見管内総合家畜共進会

自慢の牛を出品 きたみらいから47頭

9月の24日と25日に安平町で行われるホルスタインナショナルシヨウには当 J A より31頭が出場する予定です。
(高田 陽介)



▲グランドチャンピオン決定戦では全頭がきたみらい出品牛の快挙！

JAグループ

夏の**新車フェア**

2016年9月30日(金) 契約分まで 終了迫る!!

TOYOTA SUZUKI SUBARU の新車ご購入で、

A 軽乗用車 (30,000円分) B 3車 IH 炊飯器 C パソコン ヘアドライヤー・カゴ D プレミアム 高圧洗浄機 E セレブ・フォー・ユー (10,000円相当) + JCB 商品券 (15,000円分)

いずれか1つをプレゼント!

軽トラック新車ご購入でスタッドレスタイヤ4本(ホイール付き)プレゼント!

【お問い合わせ先】 J A きたみらい 燃料自動車グループ
常呂郡訓子府町駒里44番地2 生産資材拠点センター (☎ 0157-47-2099)

オホーツク管内 J A ・ホクレン給油所

ホクレン灯油 お買い得 キャンペーン

ただいま早期受付中!!

2016年9月1日(木)~2017年1月31日(火) 配送分まで

※200ℓ以上のホームタンクで定期配送(自動振替またはクレジット)を基本とさせていただきます。また、4パートの2階以上の配送については対象になりません。※対象は家庭用灯油のみとなります。※定期配送契約期間は原則2年以上とさせていただきます。

定期配送が おトク!!

2016年9月1日(木)~11月30日(水) 配送分まで

定期配送はココが安心

①定期配送だから灯油切れの心配なし。
②留守でも給油できます。
③お支払いは安心の自動振替。

④ホクレン配達燃料油 盗難補償

家庭用灯油 5万円 盗難被害相当を補償します。

キャンペーンの詳細やお申込はお近くのホクレンSSまで

※一部対象期間が異なるSSがございます。※本キャンペーンはオホーツク管内限定企画となります。

きたみらい 1 等入賞牛 (敬称略)				
部	序列	名 号	地区名	出品者
1部	1等1席	カウテスト フィールド	上常呂	溝手 義彰
2部	1等1席	ローズウェル ダーハム ナンナン	北 見	吉野 英之
2部	1等2席	ハイリークイン バインビュー エンバシー	訓子府	高倉 英介
2部	1等3席	パレルファーム ストロベリー ナイト	上常呂	神田 典廣
3部	1等3席	ロツクウ ATW スプリノ	北 見	(有)上野牧場
4部	1等1席	DH チャンス デー	北 見	山内 誠
4部	1等2席	パーチル ミステイ アイオン メモリー コピア	訓子府	渡辺 重明
5部	1等1席	パーチル アール D ファイバー	訓子府	渡辺 重明
6部	1等1席	DH スター パーバラ	北 見	山内 誠
8部	1等1席	ヨシノファーム CS スープリ	北 見	吉野 英之
9部	1等1席	DH チャンス メイク ET	北 見	山内 誠
9部	1等2席	オークリフ サラ ファイバー パンダ	上常呂	神田 典廣
9部	1等3席	パレルファーム ハイパー ジャグラー	上常呂	神田 典廣
9部	1等4席	スターマックス エコー モスワット	訓子府	安井 友和
10部	1等1席	バングリーン エバ ジョー	置 戸	中村 信一
11部	1等1席	パーチル スパークリング サンドラ	訓子府	渡辺 重明
12部	1等1席	ブルースカイ プロント アメイジング	訓子府	大塚 陽太
13部	1等1席	ホナミBBB スパークリング マックス	訓子府	(株)龍田牧場
14部	1等1席	ヨシノファーム オール ORE	北 見	吉野 英之
15部	1等1席	ピーターチェ プリッツ ハイブリッド	相 内	(有)小野牧場
15部	1等2席	ヤン ロメオ アベイル リンディ	訓子府	竹本 竜也
16部	1等1席	クレイジャスクルー ルーシー リュー	置 戸	(有)小山牧場
J 2部	1等1席	DH スカッチ マーリン	北 見	山内瑞穂(中3)



▲グランドチャンピオンに輝いた(株)龍田牧場所有牛(ホナミBBB スパークリング マックス)

各部チャンピオン (敬称略)

チャンピオン	名 号	農協名	出品者
グランド・チャンピオン	ホナミBBB スパークリング マックス	きたみらい	(株)龍田牧場
R・グランド・チャンピオン	DH チャンス メイク ET	きたみらい	山内 誠
ジュニア・チャンピオン	パーチル アール D ファイバー	きたみらい	渡辺 重明
R・ジュニア・チャンピオン	DH スター パーバラ	きたみらい	山内 誠
インターメディアイト・チャンピオン	ホナミBBB スパークリング マックス	きたみらい	(株)龍田牧場
R・インターメディアイト・チャンピオン	DH チャンス メイク ET	きたみらい	山内 誠
シニア・チャンピオン	ヨシノファーム オール ORE	きたみらい	吉野 英之
R・シニア・チャンピオン	クレイジャスクルー ルーシー リュー	きたみらい	(有)小山牧場
ジュニアカップ・チャンピオン	DH スカッチ マーリン	きたみらい	山内瑞穂(中3)
R・ジュニアカップ・チャンピオン	DH アフター チャンス	きたみらい	山内音葉(小5)

INFORMATION



▲家族一丸となって芋を掘る参加者のみなさん

今年で29回目を迎える農業体験「がぶりかるちゃー」が8月5日、北見市仁頃の田園空間情報センターの圃場で行われ、「家族芋掘り体験会」に親子147組、総勢512人が参加し大いに賑わいました。同事業は北見市、JAきたみらい、土地改良区のほか8団体で構成する「がぶりかるちゃー事業実施委員会」が主催。農業体験を通じて地域消費者に地域農業への理解を深め

家族一丸となって芋掘り楽しむ 147組512人が参加

てもらい、農村と都市との交流を通じて、ふるさとの活性化を図ることを目的としています。

当日は1組に3坪ほどの面積が割り当てられ芋掘りを体験。気温が30度を超えるなかでの体験となりましたが、兄弟で競い合ったり芋を掘っている姿や「沢山とれたー」という子どもたちの歓声、家族一丸となった収穫作業で暑さを忘れるひとときとなりました。

(梅澤 大)



▲主催者を代表し、歓迎の挨拶をする舟山秀太郎実行委員長



▲収穫した芋を手に笑顔を見せてくれた子どもたち



▲産地間の栽培動向について話し合う小野理事とJA職員



▲研修会に参加したみなさん。(前列左から)JA兵庫みらい 小池秀和課長、JAふくしま未来 大内義行課長補佐、JA新潟みらい 小山正勝氏

JAみらいサミット間 人事交流研修会を実施

JAきたみらいでは8月1日から5日にかけて、「JAみらいサミット間人事交流研修会」を開催しました。JA新潟みらい、JA兵庫みらい、JAふくしま未来から3名が参加し、JAきたみらいの購買部門、販売部門、営農部門を研修し、情報、意見交換などを行いました。

同研修会では、JAきたみらいが昨年7月から稼働した営農支援システムを紹介しました。組合員ふれあい室より、営農相談業務に携わる担当職員1人に1台のタブレット端末を配した取組事例のなかで、「新人職員や異動から間もない職員でも一定の情報提供を目指してプロジェクトチームを発足させた」とシステム導入の経緯と稼働状況を説明。さらに今後の課題として、「タブレット端末の活用を場をあげ、部門を超えた情報の提供を押し進めていきたい」と意気込みを話しました。

また、購買部門では生産者の所得増大に向けた取り組み、販売部門では販売戦略、特産品・加工品の開発等について意見交換を行いました。

JA兵庫みらいの小池秀和課長は「視察した先々で北海道農業の規模の大きさに圧倒された。なかでも現地に出向いて農家とのコミュニケーションを図る姿勢には感銘を受けた。さらに、地図システムの改良に向けて、ヒントが得られた」と研修の成果を強調しました。

(高田 陽介)

農林水産業の世界を体験 夏休み子ども見学デー

7月28日と29日の2日間、農林水産省北海道農政事務所北見地域拠点が市内小学校の体育館にて「夏休み子ども見学デー」を開催し、農林水産業の世界を子どもたちに紹介、体験しました。

用意された6つの体験コーナーは、夏休み中の子どもたちで賑わい、小麦のワラを使った北欧の立体アート「ヒンメリ」が人気を集めました。

また特産品の玉葱を使用した、「タマネギ染色体験」も人気でした。この体験は豆乳で好きなイラストを描き、玉葱の皮から抽出した染色液で染め、オリジナルの絵葉書を作成。参加した子どもたちからは「豆乳で絵を描いた部分が濃く染まるのが不思議」「楽しかったのでまたやりたい」と大好評。壁には玉葱で染色した生地を使用したJAきたみらい作業着も展示され、参加者からは驚きの声がかげました。

他にも木工クラフト作りや砂糖ができるまでがわかる「砂糖のひみつ」のコーナーなどが設けられ、普段なかなかできない体験に子どもたちは興味津々でした。

(丸山 恵理)



▲オリジナル絵葉書を染める参加者



▲ヒンメリ作りを教わる子どもたち

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



8月号まちがいさがしの当選者

8月号のまちがいさがしの答えは「1、3、7、10、12」でした。正解者23名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

- () 内は地区名
- ・岩橋 椎奈さま(温根湯) ・田中 利枝さま(留辺蘂)
 - ・森 さとみさま(相 内) ・仁木 義信さま(置 戸)
 - ・柴田ひとみさま(訓子府) ・菅野 涼介さま(訓子府)
 - ・渡辺 聖也さま(訓子府) ・鉄地河原和子さま(北 見)
 - ・武田 千歩さま(端 野) ・會田 悦子さま(端 野)

以上の方々には、JAきたみらいの「オニオンコンソメ」「麦まるごとうどん 平打ち」「玉葱醤油」をセットにしてプレゼントします。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。
抽選で10名の方に、JAきたみらいの「麦まるごとうどん 平打ち」「玉葱と牛すじカレー」「玉葱と鶏もも肉の黒カレー」をセットにしてプレゼント致します。

今 年の芋掘りが始まりますね。
朝6時から夕方6時頃までひと月くらいは続きますね。がんばらなくちゃ!

(訓子府地区 柴田 ひとみさん)

長時間の作業お疲れ様です。ケガに気をつけ、出来秋を迎えましょう!

す ばらしい!
30分以上みつからなかった。

(端野地区 武田 千歩さん)

ありがとうございます! 今後も皆さんが楽しめるような広報作りをしていきます。

い つもやってるけど難しかったです。
けっこう苦戦しました。
また、楽しみにしています。

(訓子府地区 菅野 涼介さん)

今回は苦戦された方が多かったようです! 次回もぜひ全問正解目指してチャレンジしてみてくださいね!

り オオリンピックでは沢山のメダルを取りました。
農家も沢山の追加金が取れます様にと願いつつ
農作業をがんばっています! ヽ／＼!

(置戸地区 仁木 義信さん)

たくさんの勇気と元気もらったオリンピックでした。
これからの収穫時期、日本代表に負けないようがんばってください!

JAからの お知らせ

INFORMATION

第7回 理事会報告

8月26日、午前9時より第7回定例理事会が開催され、報告事項19件、決議事項7件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①監事監査結果報告(平成27年度共計玉ねぎ・馬鈴しょ本精算、随時)について
- ②内部監査結果報告(購買部門)について
- ③組合員状況報告について
- ④財務状況報告について
- ⑤平成28年度上半期収支実績及び決算見込について
- ⑥燃料手当の支給について
- ⑦コンプライアンス事故報告概要について
- ⑧反社会的勢力との取引排除にかかる既往顧客の定期確認結果について
- ⑨反社会的勢力との取引排除及び組織犯罪の防止にかかる対応状況について
- ⑩平成28年度農地評価単価基準について
- ⑪対策農家の上半期の状況について
- ⑫8月3日大雨・降雹被害について
- ⑬作況調査(8月15日)報告について
- ⑭重要病害虫対策について
- ⑮大豆増反に係る収穫対応について
- ⑯H28年度小麦の収穫及び品質状況について
- ⑰H28年度共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
- ⑱J A 共済コンプライアンス点検結果について
- ⑲平成28年8月の台風等による被害について(速報)

【決議事項】

- ①出資減口について
- ②固定資産の取得及び処分について
- ③平成28年度重要病害虫支援について
- ④理事との受託販売品に係る取扱基準の設定について
- ⑤H28年度蔵原馬鈴しょの概算金について
- ⑥平成28年度夏期地区別懇談会Q & Aについて
- ⑦H28年青果物取扱要領の修正について(玉葱、種子馬鈴しょ)



- 価格は1kg当たり1,000円となります。(本体926円+消費税74円)
- お渡し時期は10月20日~30日(申込受付9月25日~10月15日)
- 育成牛の堆肥です。未熟堆肥であることをご了承ください。
- 年間販売見込数量1,200トン
- 分析値

水分	pH	EC	T-N%	P	K
88.17	8.58	7.53	0.31	0.183	0.345

購入を希望される方は電話にて申込願います。なお数量に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

合同会社 きたみらい哺育育成センター 電話: 0157-53-2233
小林場長 携帯: 080-1976-6329

きたみらい哺育育成センターで堆肥を販売します。
きたみらい哺育育成センターまで取りに来ていただける方を対象としています。

余剰堆肥の販売について

きたみらい哺育育成センター

読者の声

VOICE



【材料：4人分】

トマト	1個	バゲット	50g
キュウリ	1/2本	(なければ食パンで代用)	
赤パプリカ	1/2個	白ワインビネガー	大さじ2
タマネギ	1/4個	塩	小さじ1/2
セロリ	1/2本	EVオリーブ油	大さじ2
ニンニク	1/2個	こしょう	少々
トマトジュース	190g	バジル	少々

冷製スープ・ガスパチョ

【エネルギー約101kcal(1食当たり)】

【作り方】

- ①バゲットは手でちぎり、白ワインビネガーをもみ込む。
 - ②全ての野菜を小角切りにする。
 - ③ミキサーに①、②とトマトジュース・EVオリーブ油・塩・こしょうを入れかき混ぜる。
 - ④ざるなどでこし、味を調整する(濃度が濃い場合は、水で調整する)。
 - ⑤冷蔵庫でよく冷やして器に盛り付け、バジルを添える。
- ※ハンドミキサーを使用する場合は、野菜をかき混ぜた後バゲットを加え、最後にEVオリーブ油と塩・こしょうで味付けした後でこす。

メモ

「飲むサラダ」ともいわれる、暑い日にピッタリなスペインの冷たいスープです。中にはパンも入り、栄養バランスも抜群！冷蔵庫でよく冷やしてお召し上がりください。6時間以上なじませると、さらにおいしさがアップします。



♥おいしいもの大好き!♥



【材料：2人分】

桃	1個
サヤインゲン	8本
レモン汁	大さじ1
カップリーニ	100g
EVオリーブ油	大さじ1
塩	小さじ1/2
ピンクペッパー	適量
ミントの葉	少々

桃の冷製パスタ

【エネルギー約316kcal(1食当たり)】

【作り方】

- ①インゲンはサッとゆで、斜め細切りにする。桃は皮をむき、大きめに切る。
- ②レモン汁・EVオリーブ油・塩を混ぜ合わせ、インゲンと桃を加え冷やす。
- ③たっぷりの湯に分量外の塩を加えてカップリーニを袋の表示通りにゆで、氷水にさらしてからよく水気を切る。
- ④②にカップリーニをからませ、器に盛り付けピンクペッパーとミントを添える。

メモ

不老不死の実とも呼ばれた桃には、嬉しい効果がいっぱいです。デザートだけではなく、パスタとからめて旬の風味をお楽しみください。カップリーニは細いパスタです。全体を絡ませるときは、桃が崩れないように注意しましょう。

編集後記

- ・今月号の特集では高知県高校生の農業体験を取り上げています。各々農作業に汗を流し、大変ながらも良い夏の思い出になったのではないのでしょうか。
- ・相次ぐ台風により甚大な被害が出ています。職員も援農を行い、災害復旧のお手伝いに努めています。被害を受けたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。また収穫作業が本格化し、農作業事故が多くなります。お互い心をひとつに、声を掛け合い、注意喚起に心がけましょう。

(菊池 光祐)

JAきたみらい概要

(平成28年8月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,746人
- ・組合員数(准) 6,092人
- ・組合員戸数(正) 1,099戸
- ・貯金 103,473百万円
- ・貸出金 17,829百万円
- ・出資金 5,012百万円